



カラー LED フラットパネルモニター

UML-193-90 | UML-223-90



BOSCH

ja ユーザーガイド

目次

| | | |
|-----------|--------------------------------|-----------|
| 1 | 安全にご使用いただくために | 5 |
| 1.1 | 安全に関するご注意 | 5 |
| 1.2 | 安全に関する表示 | 7 |
| 1.3 | 重要な通知 | 7 |
| 1.4 | カスタマサポートおよびサービス | 11 |
| 2 | 開梱 | 12 |
| 2.1 | パーツ一覧 | 12 |
| 3 | アクセスと接続 | 13 |
| 3.1 | 前面操作パネル | 13 |
| 3.2 | 底面パネル | 13 |
| 4 | 説明 | 14 |
| 4.1 | 特長 | 14 |
| 4.2 | 電源 | 14 |
| 5 | モニターの設置 | 15 |
| 5.1 | 換気 | 15 |
| 5.2 | 卓上設置 | 15 |
| 5.3 | 電源接続 | 15 |
| 5.4 | 音声のモニター接続 | 15 |
| 5.5 | PC 信号をモニターに接続する | 16 |
| 5.5.1 | HDMI 接続 | 16 |
| 5.5.2 | DVI 接続 | 16 |
| 5.5.3 | VGA 接続 | 16 |
| 6 | モニターの操作 | 17 |
| 6.1 | 前面パネルの操作 | 17 |
| 6.2 | モニターのオンスクリーンディスプレイ (OSD) の使用 | 17 |
| 6.3 | オンスクリーンディスプレイメニュー | 18 |
| 6.4 | [イメージ] メニュー | 19 |
| 6.5 | [ディスプレイ] メニュー | 20 |
| 6.6 | [音声] メニュー | 21 |
| 6.7 | [システム] メニュー | 21 |
| 7 | 電源管理 | 23 |
| 7.1 | 消費電力 | 23 |
| 7.2 | LED インジケーター | 23 |
| 8 | トラブルシューティング | 24 |
| 9 | メンテナンス | 25 |
| 10 | 技術仕様 | 26 |

1 安全にご使用いただくために

1.1 安全に関するご注意

以下の安全のための注意事項をすべてお読みになり、これらの注意事項に従って製品を安全にお使いください。また、この冊子は今後も参照できるように確実に保管してください。本機を使用する前に、本機に貼付されている警告や操作マニュアルに明記されている警告をすべて確認してください。

1. **清掃** - 清掃する際は、本機の電源を切ってください。本機に付属のマニュアルの手順に従ってください。通常は、乾いた布で拭くだけで十分ですが、湿らせた毛羽立たない布やセーム皮を使ってクリーニングすることもできます。液体クリーナーやクリーニングスプレーは使用しないでください。
2. **熱源** - ラジエーターやヒーター、ストーブなどの熱を発生する機器（アンプを含む）の近くに本機を設置しないでください。
3. **換気** - 本機には、過熱を防いで動作を安定させるための、換気用の開口部が設けられています。開口部を塞いだり、覆ったりしないでください。本機は、換気が十分でない密閉された場所や、メーカーの指示を満たしていない場所には設置しないでください。
4. **水気** - 浴槽や洗面台、流し台、洗濯機の周辺などの湿気が多い場所、または高湿度で結露の多い地下室やプール、屋外など、水や雨のかかる場所に本機を設置しないでください。火災や感電の危険を避けるために、本機を雨や湿気にさらさないでください。
5. **異物や液体の侵入** - 本機の開口部にいかなる異物も挿入しないでください。危険な高電圧部分に触れたり、内部の部品がショートして、発火や感電を引き起こす危険があります。本機の上に液体をこぼさないでください。花瓶やカップなど、液体が入ったものを本機の上に置かないでください。
6. **雷** - 雷雨時に本機を保護したり、本機を使用しないまま長時間保管したりする場合は、本機を電源コンセントから外してケーブル類を抜いてください。こうすることで、雷や電源サージから本機を保護することができます。
7. **制御調整** - 操作マニュアルに記載されている制御と調整のみを行ってください。誤ってその他の制御や調整を行うと、本機が故障する場合があります。マニュアルに明記されていない制御や調整を行ったり、指定されていない手順を実行すると、危険な電磁波が放出される可能性があります。
8. **過電流** - コンセントや延長コードの定格電流を超えないように注意してください。指定された定格を超えると、火災や感電が発生する危険があります。
9. **電源コードやプラグの保護** - プラグや電源コードを足で引っ掛けたり、上に物を置いたり、電源コンセントや本体コード接続部に物を押し付けたりしないでください。
10. **電源の遮断** - 電源コードを電源コンセントに接続している間は、常に電力が供給されます。電源コードは、すべての装置への電圧を遮断する主電源遮断デバイスです。
11. **電源** - ラベルに記載されている種類の電源以外、使用しないでください。操作を続ける前に、本機に取り付けられているケーブルから電源を遮断してください。
 - バッテリーで動作する装置の場合は、操作マニュアルを参照してください。
 - 外部電源で動作する装置の場合は、推奨または認可された電源以外、使用しないでください。
 - 制限電源装置の場合、電源が EN60950 に準拠する必要があります。それ以外の電源を使用すると、本機の損傷または火災や感電を引き起こす危険があります。
 - 使用する電源の種類が不明な場合は、販売店または地元の電力会社にお問い合わせください。
12. **修理** - 有資格者以外は、本機の修理を行わないでください。カバーを開いたり取り外したりすると、危険な高電圧やその他の危険物が露出する恐れがあります。修理が必要な場合は、資格を持ったサービス担当者に依頼してください。

13. **修理が必要な損傷** - 次のような損傷が発生した場合は、AC 主電源との接続を遮断して、有資格のサービススタッフにお問い合わせください。
 - 電源コードまたはプラグが損傷している。
 - 本機が湿気や水、または悪天候にさらされた（雨、雪など）。
 - 液体が本機にかかった、または本機の内部に侵入した。
 - 異物が本機の内部に入り込んだ。
 - 本機を落としたか、本機のキャビネットが損傷した。
 - 本機の性能がはっきりと変化した。
 - 操作マニュアルに従って正しく使用しても本機が正常に動作しない。
14. **交換部品** - 弊社指定品、または元の部品と同じ特性を持つ部品を使用してください。部品を許可なく交換すると、火災や感電、その他の危険な状況が発生する可能性があります。
15. **安全チェック** - 修理や点検が完了したら、安全チェックを実施して正常に動作することを確認してください。
16. **設置** - 本機の設置は、弊社の規定や設置する地域の法規に従って行ってください。
17. **付属品の取り付け、本機の変更や改造** - 付属品やアクセサリは弊社指定品を使用してください。Bosch からの明示的な許可を得ずに本機を変更または改造した場合、保証が無効になる場合があります。また、承諾契約を交わしている場合は、本機を操作する権限が無効になる可能性があります。

1.2 安全に関する表示



危険

高レベルの危険：製品内の「危険電圧」など、差し迫った危険な状況を示します。指示に従わなかった場合は、感電、重度の怪我、または死亡につながります。



警告

警告：この記号は「死亡や重傷を負うおそれがある内容」を示しています。指示に従わなかった場合は、軽度または中程度の怪我を負うおそれがあります。



注意

注意：この記号は「傷害を負うことや財産の損害が発生するおそれがある内容」を示しています。指示に従わなかった場合は、物的損害を被ったり、本機自体が損傷する危険が生じたりします。

1.3 重要な通知



付属品 - 本機を不安定なスタンドや三脚、ブラケット、取付器具の上に設置しないでください。本機が落下して、深刻な怪我を負ったり、本機が完全に破損する可能性があります。メーカーが指定するカート、スタンド、三脚、ブラケット、テーブルのみを使用してください。カートを使用する場合は、カート / 器材を慎重に移動するようにし、転倒などによって怪我をしないように注意してください。急に止めたり、力をかけすぎたり、平らでない面に置くと、カートやモニターが横転する危険があります。本機はメーカーの指示に従って設置してください。

全極型電源スイッチ - 各極に最低 3mm の接点間隔を設けた、全極型電源スイッチを建物の電気設備に組み込んでください。修理などのために筐体を開ける必要がある場合は、この全極スイッチを使用して、モニターへの電力供給を切断してください。

同軸アース：

- 外部のケーブルシステムを本機に接続する際は、ケーブルをアースに接続してください。
- 本機のアースプラグをアースをとった電源に接続するか、アース端子を正しくアース元に接続してから、屋外の機器を本機の入力に接続してください。
- アースプラグまたはアース端子を取り外す前に、本機の入力コネクタを屋外の機器から取り外してください。
- 本機に接続されている屋外の機器のアース接続などに関する安全のための注意事項に従ってください。

米国 モデルのみ - *National Electrical Code, ANSI/NFPA No.70 のセクション 810*に、取付器具および支持構造の適切なアース、放電装置に接続する同軸ケーブルのアース、アースコンダクターのアースサイズ、放電装置の設置場所、アース電極への接続、アース電極の要件に関する情報が記載されています。



廃棄 - Bosch 製品は、リサイクルおよび再利用が可能な高品質の材質やコンポーネントを使用して開発、製造されています。この記号は、使用済みの電子部品や機器を家庭用のごみと分別して、回収および廃棄しなければならないことを示しています。通常、電子部品や機器は、国や地方自治体によって分別回収や廃棄方法が異なります。

電子監視 - 本機は公共の場所での使用のみを目的としています。米国 連邦法により、会話の無断での録音は固く禁止されています。

環境に対する取り組み - Bosch は環境保護に全力で取り組んでいます。本機は環境をできるだけ配慮した上で設計されています。

静電気の影響を受けやすいデバイス - 適切な CMOS/MOS-FET 取扱手順に従って、静電気放電を防いでください。

注意：静電気の影響を受けやすいプリント回路板を取り扱う際は、規定の静電気除去リストストラップを着用し、適切な ESD 安全事項に従ってください。

ヒューズ定格 - デバイスのセキュリティ保護のために、分岐回路保護は 16A の最大ヒューズ定格で安全を確保する必要があります。NEC800 (CEC セクション 60) に従ってください。

アースプラグおよび分極プラグ - 本機には、交流線の分極プラグ（一方のブレードの幅が他方よりも広い）が付属している場合があります。この安全機能により、電源コンセントへのプラグの接続方向が 1 方向に制限されます。プラグをコンセントに完全に差し込めない場合は、最寄りの正規の電気店に依頼して旧式のコンセントを交換してください。分極プラグの安全機能を無効にしないでください。

地域によっては、3 極アースプラグ（アース接続用の 3 本目のピンが設置されているプラグ）を搭載している場合もあります。このプラグは、アース端子付きの電源コンセントにしか差し込めないため安全です。プラグをコンセントに差し込めない場合は、最寄りの正規の電気店に依頼して旧式のコンセントを交換してください。アースプラグの安全機能を無効にしないでください。

移動 - 本機を移動する前に、電源を遮断してください。本機は慎重に移動してください。力を入れすぎたり、衝撃を与えると、本機が損傷する可能性があります。

屋外の映像信号 - 屋外の映像用に設置する場合、特に電源や避雷針との間隔、および過度電流からの保護については、NEC725 および NEC800 (CEC 規則 16-224 および CEC セクション 60) に従ってください。

常時接続機器 - 建物の配線図内に、簡単にアクセスできる遮断装置を用意します。

プラグ着脱可能な機器 - 本機の近くにコンセントを設置し、簡単にアクセスできるようにしてください。

電源の再供給 - 指定された動作温度を超過して本機の電源が強制的に遮断された場合は、電源コードを取り外し、30 秒以上待機してから、電源コードを再び接続してください。

電源ケーブル - ディスプレイを、頭上の電源ケーブル、電源回路、電灯の近くに設置したり、それら電源、回路、電灯に触れないようにしてください。

ラックへの取り付け

- 換気 - 本機は、換気が十分でない場所や、メーカーの指示を満たしていない場所に組み込んだりラックに取り付けたりしないでください。装置の最大動作温度要件を超えないようにしてください。
- 機械的負荷 - 機器をラックに取り付ける際は、不安定な設置で本機に負荷がかかり危険な状態にならないよう、機器が適切な状態になるようラックに取り付けてください。

SELV

すべての入力 / 出力ポートは、Safety Extra Low Voltage (SELV) 回路です。SELV 回路は他の SELV 回路にのみ接続してください。

ISDN 回路は電話網電圧と同様に扱われるため、SELV 回路を電話網電圧 (TNV) 回路に接続しないでください。

システムアース / アース (接地)

システムアースは、特定の国の安全基準や設置上の慣例に従う目的でのみ使用します。明示的に必要とされている場合を除き、システムアースを安全アースに接続することは**推奨しません**。ただし、システムアースと安全アースが接続され、アースループが映像信号の干渉の原因になっている場合は、絶縁変圧器 (Bosch から別途購入可能) を使用してください。



注意

システムアースを安全用アースに接続すると、アースループが発生し、防犯カメラシステムに障害をもたらす可能性があります。

映像断 - 映像断は、デジタルビデオ録画に固有の現象です。このため、Bosch Security Systems は、映像情報の損失による損害に対して一切責任を負いません。デジタル情報が途切れるリスクを最小限に抑えるために、Bosch Security Systems では、複数の冗長録画システムを使用し、すべてのアナログおよびデジタル情報のバックアップを取ることをお勧めします。

**注**

この製品はクラス A 製品です。この製品を家庭環境で使用すると、無線妨害を引き起こすおそれがあります。この場合には、ユーザーが適切な対策を講じることが必要になる場合があります。

FCC および ICES の情報

(米国 およびカナダモデルのみ)

本機は *FCC 規則の第 15 部* に準拠しています。本機の動作は以下の 2 つの条件に準じています。

- 本機は有害な干渉を起こしません。
- 本機は、予期せぬ動作をもたらす可能性のある干渉を含め、あらゆる受信干渉を許容できません。

注：本機は、*FCC 規則の第 15 部* および *カナダ産業省の ICES-003* に基づく **Class A** デジタルデバイスの制限に準拠することがテストにより確認されています。これらの制限は、本機を **商業環境** で作動させたときに有害な干渉から適切に保護するためのものです。本機は、無線周波エネルギーを生成、使用し、放射します。指示どおりに設置して使用しないと、無線通信に対して有害な電波干渉を及ぼすことがあります。本機を住宅地で作動させた場合、有害な干渉を引き起こす可能性があり、その場合はユーザーが自己の費用による干渉の是正を要求されることがあります。

準拠に対して責任を負う事業者が明示的に承認していない改造を行うことは、意図的であるか否かを問わず禁止されています。改造を行うと、本機を使用できなくなる場合があります。必要な場合は、対処方法について、販売店や、経験豊富なラジオ / テレビ技術者に相談してください。

この冊子は、米国政府印刷局 (Washington D. C. 20402, Stock No. 004-000-00345-4) より提供されています。

免責事項

Underwriter Laboratories Inc (以下「UL」)では、本製品のセキュリティや信号出力に関するパフォーマンスや信頼性のテストは行っていません。ULは、ULの「*Standard(s) for Safety for Closed Circuit Television Equipment, UL 2044*」で規定している火災、衝撃、事故の危険性についてのみテストを行っています。ULの認証は、本製品のセキュリティや信号出力に関するパフォーマンスや信頼性を保証するものではありません。

ULは、本機のセキュリティや信号伝送に関する機能の性能や信頼性に関して、一切の表明、保証、認証を提供しません。

免責事項

Underwriter Laboratories Inc (以下「UL」)では、本製品のセキュリティや信号出力に関するパフォーマンスや信頼性のテストは行っていません。ULは、ULの「*Standard(s) for Safety for Information Technology Equipment, UL 60950-1*」で規定している火災、衝撃、事故の危険性についてのみテストを行っています。ULの認証は、本製品のセキュリティや信号出力に関するパフォーマンスや信頼性を保証するものではありません。

ULは、本製品のセキュリティまたは信号出力関連の機能のパフォーマンスや信頼性に関して、一切の表明、保証、認証を提供しません。

著作権

本マニュアルは、Bosch Security Systemsの知的財産であり、著作権で保護されています。

All rights reserved.

商標

本書で使用されているすべてのハードウェアおよびソフトウェアの製品名は登録商標である可能性があります。このため、しかるべき方法で取り扱う必要があります。

注意

本マニュアルは細心の注意を払って作成されており、記載されている情報については十分な検証を行っています。テキストについては印刷の時点で誤字脱字がないことを確認しています。製品開発は継続的に進められているため、ユーザーガイドの内容は予告なく変更される場合があります。Bosch Security Systems は、誤り、不完全な記述、またはユーザーガイドと対象製品との不一致によって直接的または間接的に発生する損害について一切責任を負いません。

1.4 カスタマサポートおよびサービス

本機の修理が必要な場合、最寄りの Bosch Security Systems サービスセンターにご連絡いただき、修理手続きについて、ご確認ください。

サービスセンター**日本****ホーチキ株式会社**

電話：03-5759-4164

FAX：03-5759-4159

E-メール：info@hochiki.co.jp

米国カスタマーサービス

電話：888-289-0096

FAX：585-223-9180

E-メール：security.sales@us.bosch.com

米国テクニカルサポート

電話：800-326-1450

FAX：585-223-3508 または 717-735-6560

E-メール：technical.support@us.bosch.com

カナダ

電話：514-738-2434

FAX：514-738-8480

ヨーロッパ、中東、アフリカ地域**修理センター**

電話：31 (0) 76-5721500

FAX：31 (0) 76-5721413

E-メール：RMADesk.STService@nl.bosch.com

アジア地域**修理センター**

電話：65 63522776

FAX：65 63521776

E-メール：rmahelpdesk@sg.bosch.com

カスタマーサービス

電話：86 (0) 756 7633117 または

86 (0) 756 7633121

FAX：86 (0) 756 7631710

E-メール：customer.service@cn.bosch.com

保証、その他の情報

その他サポートに関する詳細情報や保証に関するお問い合わせは、日本国内 Bosch Security Systems 代理店、または Web サイト（www.jp.boschsecurity.com）にてお問い合わせください。

2 開梱

本機は慎重に取り扱う必要があります。十分に注意して開梱してください。製品出荷時に生じたと思われる損傷がある場合は、すぐに発送元までお問い合わせください。

下記のパーツ一覧に記載された付属品がすべて揃っていることを確認してください。不足品がある場合は、Bosch Security Systems の営業担当者またはカスタマーサービス担当者にお知らせください。

この梱包箱は、この製品を輸送するうえで安全上最も適しています。修理のために製品を返送する際は必ずこの梱包箱を使用してください。梱包箱は大切に保管しておいてください。

2.1 パーツ一覧

| 数量 | 説明 |
|----|---|
| 1 | UML-193-90 または UML 223-90 カラー LCD フラットパネルモニター |
| 1 | モニタースタンド |
| 2 | FS4×12 ねじ (モニタースタンド用) |
| 1 | 設置マニュアル (印刷された冊子、英語版) |
| 1 | 設置マニュアル (CD-ROM、多言語版) |
| 2 | アースプラグ付き 3 芯電源コード、1.8m (米国仕様プラグ付き ×1、欧州仕様プラグ付き ×1) |
| 1 | 電源アダプター |
| 1 | DVI-D - DVI-D ケーブル、1.8m (6ft) |
| 1 | VGA - VGA (D-Sub) ケーブル、1.8m (6ft) |
| 1 | ステレオケーブル、1.8m (6ft) |

3 アクセスと接続

3.1 前面操作パネル

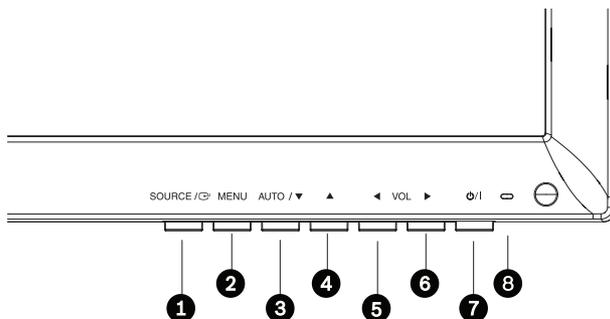


図 3.1 UML-193-90/UML-223-90 前面パネル

| 番号 | ボタン / 部品 | 説明 | |
|----|------------|--|------------------|
| 1 | SOURCE | 表示する信号を選択します。 | |
| 2 | MENU | オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューを開きます。 | |
| 6 | AUTO / ▼ | OSD で値を調整します。 PC モードのときに自動調整機能をアクティブにします。 | OSD で下にスクロールします。 |
| 5 | ▲ | OSD で値を調整します。 | OSD で上にスクロールします。 |
| 3 | ▶ | OSD で値を減らします。 音量を下げます。 | OSD で左にスクロールします。 |
| 4 | ▶ | OSD で値を増やします。 OSD メニューの入力機能として動作します。 音量を上げます。 | OSD で右にスクロールします。 |
| 7 | 電源 | ディスプレイ電源 (オン / オフ)。 | |
| 8 | LED インジケータ | モニターの動作状態を表します。 - 電源オン、スタンバイ (青) - 電源オフ (LED オフ) | |

3.2 底面パネル

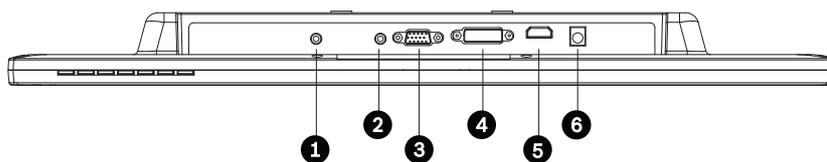


図 3.2 底面図 (I/O パネル)

| 番号 | コネクタ |
|----|------------------------------|
| 1 | アップグレード |
| 2 | PC ステレオ入力 (VGA および DVI 入力) |
| 3 | VGA 入力 |
| 4 | DVI 入力 |
| 5 | HDMI 入力 |
| 6 | DC 12V |

4 説明

Bosch の高性能 LCD モニターは、防犯カメラシステムの PAL または NTSC 標準カラー映像を表示できます。モニターは、15 ピン D-sub コネクターを使用したアナログ VGA 入力、HDMI (高解像度マルチメディアインターフェース) 入力、および DVI コネクターを備え、セキュリティ用途での利用が増加している PC やデジタルビデオデバイスに対応しています。モニターの制御には、プッシュボタンおよびオンスクリーンディスプレイ (OSD) からアクセスします。各モデルで使用できるコネクターとプッシュボタンについては、13 ページのセクション「3 アクセスと接続」を参照してください。

4.1 特長

- 18.5 インチモデルおよび 21.5 インチモデル
- VGA 入力
 - 640×480 (60Hz)
 - 720×400 (70Hz)
 - 800×600 (60Hz)
 - 1024×768 (60Hz)
 - 1280×768 (60Hz)
 - 1360×768 (60Hz)
 - 1440×900 (60Hz)
 - 1680×1050 (60Hz)
 - 1920×1080 (60Hz)
- DVI、HDMI 入力
 - 480i (60Hz)
 - 576i (50Hz)
 - 480p (60Hz)
 - 576p (50Hz)
 - 720p (50/60Hz)
 - 1080i (50/60Hz)
 - 1080p (24/25/30/50/60Hz)
 - 640×480 (60Hz)
 - 720×400 (70Hz)
 - 800×600 (60Hz)
 - 1024×768 (60Hz)
 - 1280×768 (60Hz)
 - 1360×768 (60Hz)
 - 1440×900 (60Hz)
 - 1680×1050 (60Hz)
 - 1920×1080 (60Hz)

4.2 電源

| モデル番号 | 定格電圧 | 電圧範囲 | 定格電圧での消費電力 | 同期形式 |
|------------|------------------------|------------|------------|----------|
| UML-193-90 | AC 120/230V 50/60Hz | 100 ~ 240V | 42W 未満 | NTSC/PAL |
| UML-223-90 | AC 120/230V 50/60Hz | 100 ~ 240V | 42W 未満 | NTSC/PAL |

5 モニターの設置

この章では、モニターの設置手順の概要を説明します。モニターの設置は、有資格のサービス担当者が地域の法規に従って実施する必要があります。

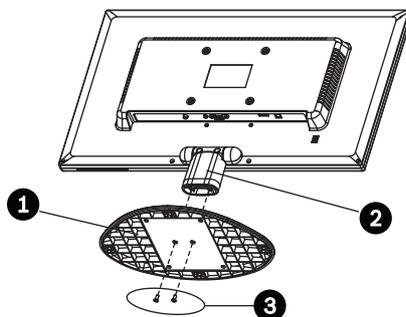
5.1 換気

過熱を防ぐために、モニターの背面にある換気口をふさがないでください。

5.2 卓上設置

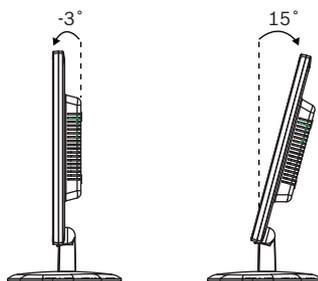
モニターをセットアップする前に、モニターとその他の接続機器の電源がオフになっていることを確認します。

1. スタンドの接続：
 - a. 前面を下に向けて、柔らかい布の上にモニターを置きます。
 - b. アクセサリボックスに収納されているねじを使用して、正しい方向でスタンド本体にスタンドベースを取り付けます。
 - c. 組み立てたら、慎重にモニターを持ち上げて、画面を前方に向けます。



| | |
|---|-----------|
| 1 | スタンド本体 |
| 2 | スタンドベース |
| 3 | FS4×12 ねじ |

2. モニターの角度調整：
 - a. LCD の画角は、最も快適に見えるように調整できます。（チルト動作範囲：-3° ~ 15°）



5.3 電源接続

Bosch フラットパネル CCTV モニターには、米国仕様の 3 極電源コードと、欧州仕様の 3 極電源コードが付属しています。電源が AC 120V、60Hz の場合は米国仕様の電源コード、電源が AC 230V、50Hz の場合は欧州仕様の電源コードを使用してください。このモニターは、いずれの電源入力電圧にも自動的に対応します。

5.4 音声のモニター接続

後面パネルには、音声入力用のステレオ音声コネクタが 1 セットあります。この音声入力は、後面パネルのどの入力端子にも関連付けられておらず、任意の音声入力に自由に接続できます。

5.5 PC 信号をモニターに接続する

PC 信号をモニターに接続するには、HDMI、DVI、VGA の 3 種類の方法があります。

5.5.1 HDMI 接続

このモニターは、HDMI ケーブル（別売）で HDMI（高解像度マルチメディアインターフェース）入力に接続できます。



図 5.1 HDMI 入力

5.5.2 DVI 接続

このモニターは、付属の DVI-D ケーブルでデジタル DVI-D 信号に接続できます。



図 5.2 DVI 入力

5.5.3 VGA 接続

後面パネルにある VGA コネクタと VGA ケーブル（D-SUB - D-SUB）を使用して、PC 信号をモニターに接続できます。



図 5.3 VGA 入力

| ピン | 説明 | ピン | 説明 | ピン | 説明 |
|----|-------|----|----------|----|---------------------|
| 1 | 映像（赤） | 6 | アース（赤） | 11 | アース |
| 2 | 映像（緑） | 7 | アース（緑） | 12 | SDA（DDC 用） |
| 3 | 映像（青） | 8 | アース（青） | 13 | H-Sync または H+V Sync |
| 4 | アース | 9 | 未使用 | 14 | V-Sync |
| 5 | アース | 10 | 信号ケーブル検出 | 15 | SCL（DDC 用） |

6 モニターの操作

6.1 前面パネルの操作

前面パネルを使用して、OSD に対する必要な調整を行います。前面パネルの説明については下図を参照してください。

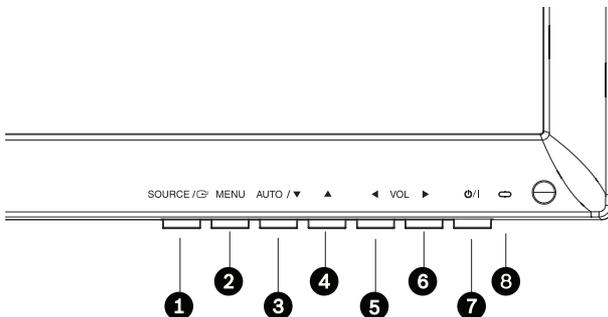


図 6.1 前面パネルのボタン

| 番号 | ボタン / 部品 | 説明 | |
|----|-----------------|--|------------------|
| 1 | SOURCE | 表示する信号を選択します。 | |
| 2 | MENU | オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューを開きます。 | |
| 6 | AUTO / ▼ | OSD で値を調整します。 PC モードのときに自動調整機能をアクティブにします。 | OSD で下にスクロールします。 |
| 5 | ▲ | OSD で値を調整します。 | OSD で上にスクロールします。 |
| 3 | ▶ | OSD で値を減らします。 音量を下げます。 | OSD で左にスクロールします。 |
| 4 | ▶ | OSD で値を増やします。 OSD メニューの入力機能として動作します。 音量を上げます。 | OSD で右にスクロールします。 |
| 7 | 電源 | ディスプレイ電源 (オン / オフ)。 | |
| 8 | LED インジケ ーター | モニターの動作状態を表します。 - 電源オン、スタンバイ (青) - 電源オフ (LED オフ) | |

6.2 モニターのオンスクリーンディスプレイ (OSD) の使用

LCD は、オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューおよびサブメニューで動作パラメーターを選択することによってプログラムします。OSD メニューにアクセスするには、操作パネル、リモコン (UML-423-90/UML-553-90 モデル)、または前面パネル (UML-193-90/UML-223-90 モデル) で [Menu] ボタンを押します。これらのコントロールを使用して、OSD に対する必要な調整を行います。



注

OSD メニューの操作中は、[SOURCE] ボタンまたは [ENTER] ボタンを使用してメニューを選択し、[MENU] ボタンを使用してメニューを終了します。

セットアップメニューを操作するには、次の手順に従います。

1. 映像ソースケーブルをモニターに接続します。
2. 電源ボタンを押してモニターの電源をオンにします。
3. 信号が表示されるまで、必要に応じて [SOURCE] ボタンまたは [ENTER] ボタンを押し、次に▲ボタンと▼ボタンを押します。
4. メインメニューの選択を確定するには、[Menu] ボタンを押します。
5. メニューを選択するには、▲ボタンと▼ボタンを押します。
6. 選択したメニューを開くには、▶ボタンを押します。
7. サブメニュー項目を選択するには、▲ボタンと▼ボタンを押します。
8. OSD 値を切り替えるには、◀ボタンと▶ボタンを押します。
9. 選択したメニューを終了してメニューバーに戻るか、[Menu] ボタンを押して選択を確定します。
10. OSD メニューバーを終了するには、もう一度 [Menu] ボタンを押します。

6.3 オンスクリーンディスプレイメニュー

4つのオンスクリーンメニューがあり、各メニューで設定をカスタマイズできます。OSDメニューにアクセスするには、[Menu] ボタンを押します。

| アイコン | メニュー | 機能 |
|---|------|---|
|  | 画像 | [輝度]、[コントラスト]、[色温度]、[ズーム]、[スマート OSD] の設定を調整します。 |
|  | 表示 | [自動調整]、[フェーズ]、[クロック]、[表示位置]、[自動カラーバランス] の設定を調整します (PC モード)。 |
|  | 音声 | [音量] と [消音] の設定を調整します。 |
|  | システム | 工場出荷時のデフォルト設定にリセットしたり、[言語]、[キーロック]、[OSD] の設定を調整します。 |

6.4 [イメージ] メニュー

[イメージ] メニューにアクセスするには、モニターの前面パネルにある [Menu] ボタンを押し、上下の矢印ボタンを押して [イメージ] アイコンを選択します。左矢印ボタンを押してメニューを表示し、上下の矢印ボタンを押してサブメニューを選択します。設定が完了したら [Menu] ボタンを押して変更内容を保存し、再度 [Menu] ボタンを押して OSD を終了します。



| サブメニュー | 定義 |
|--------|---|
| 輝度 | 映像の輝度 (明るさ) を調整します (範囲は 0 ~ 100)。 |
| コントラスト | イメージの彩度を調整します (範囲: 0 ~ 100)。 |
| 色温度 | 画像の色を調整します。[暖色]、[標準色]、[寒色]、[ユーザー] ([赤]、[緑]、[青]) を選択することができます。 |
| ズーム | モニターのアスペクト比を設定します。[16:9] と [4:3] を選択することができます。 |
| 情報バー | 4:3 で転送されたイメージをモニターに表示する場合に、イメージの両側に 2 本のバーを表示します。 |

6.5 [ディスプレイ] メニュー

[ディスプレイ] メニューにアクセスするには、モニターの前面パネルにある [Menu] ボタンを押し、上下の矢印ボタンを押して [ディスプレイ] アイコンを選択します。左矢印ボタンを押してメニューを表示し、上下の矢印ボタンを押してサブメニューを選択します。設定が完了したら [Menu] ボタンを押して変更内容を保存し、再度 [Menu] ボタンを押して OSD を終了します。



| サブメニュー | 定義 |
|------------|--|
| 自動調整 | 画面の寸法を自動調整します。 |
| フェーズ | 横方向の画像素子数を調整します (範囲 : 0 ~ 100)。 |
| クロック | 縦方向で画面イメージのノイズを調整します (範囲 : 0 ~ 100)。 |
| 表示位置 | 画像の位置を縦方向と横方向に移動します。 |
| オートカラーバランス | 自動的なカラーバランスを調整します。 |

6.6 [音声] メニュー

[音声] メニューにアクセスするには、モニターの操作パネルにある [Menu] ボタンを押し、上下の矢印ボタンを押して [音声] アイコンを選択します。左矢印ボタンを押してメニューを表示し、上下の矢印ボタンを押してサブメニューを選択します。設定が完了したら [Menu] ボタンを押して変更内容を保存し、再度 [Menu] ボタンを押して OSD を終了します。



| サブメニュー | 定義 |
|--------|--|
| ボリューム | 内蔵スピーカーの音量を調整します (範囲 : 0 ~ 100)。 |
| 消音 | 音声のオン / オフを切り替えます。 [オン] と [オフ] を選択することができます。 |

6.7 [システム] メニュー

[システム] メニューにアクセスするには、モニターの操作パネルにある [Menu] ボタンを押し、上下の矢印ボタンを押して [システム] アイコンを選択します。左矢印ボタンを押してメニューを表示し、上下の矢印ボタンを押してサブメニューを選択します。設定が完了したら [Menu] ボタンを押して変更内容を保存し、再度 [Menu] ボタンを押して OSD を終了します。



| サブメニュー | 定義 |
|--------------|--|
| 入力 | 映像入力ソースを選択します。 [VGA]、[HDMI]、[DVI] を選択することができます。 |
| OSD 設定 | 横方向の画像素子数を調整します。 [タイマー] (3 秒、6 秒、12 秒)、[回転] (0°、90°、180°、270°)、[位置]、[透明度] (範囲 : 0 ~ 100) を選択することができます。 |
| 言語 | OSD の言語を選択します。 [英語]、[フランス語]、[スペイン語]、[オランダ語]、[ドイツ語]、[イタリア語]、[ポルトガル語]、[ポーランド語]、[簡体字中国語]、[日本語] を選択することができます。 |
| キーロック | キーロック機能を有効または無効にします。 |
| リセット | 初期設定に戻します。 |
| ファームウェアバージョン | モニターのファームウェアのリリースレベルを表示します。 |



注

前面パネルでキーロックが有効になっている場合、キーロックコマンドを無効にするには前面パネルのボタンを使用します。前面パネルのボタンを使用してキーロック機能を無効にするには、モニターに「キーロック解除中」というメッセージが表示されるまで、下矢印ボタンと左矢印ボタンの両方を押し続けます。

7 電源管理

7.1 消費電力

| モード | 消費電力 | |
|------------|------------|------------|
| | UML-193-90 | UML-223-90 |
| ON | 42W 未満 | |
| ACTIVE OFF | 0.5W | |

7.2 LED インジケータ

このモニターの電源管理機能は、次の段階で構成されます。

| モード | LED の色 | モニターの動作状態 |
|-----------|--------|-----------|
| ON | 青 | 通常動作 |
| POWER OFF | LED オフ | スタンバイ動作 |

8 トラブルシューティング

| 問題 | 解決方法 |
|---------------------------------|---|
| 映像が表示されない | <ul style="list-style-type: none"> - モニターの電源コードが、コンセントまたはアースされた延長ケーブルやストリップにしっかり接続されていることを確認してください。 - 電源スイッチがオンの位置にあり、LED が点灯している必要があります。 - ディスプレイの明るさやコントラストが最低レベルに設定されていないことを確認してください。 |
| PC モードで映像が中央に表示されない、小さすぎる、大きすぎる | <p>下矢印キーを押して自動調整機能をアクティブにします。</p> <p>または</p> <p>[PC OSD] サブメニューで [周波数] と [フェーズ] を調整します。</p> |
| 映像に縦方向または横方向のノイズが出る。 | <p>下矢印キーを押して自動調整機能をアクティブにします。</p> <p>または</p> <p>[PC OSD] サブメニューで [周波数] と [フェーズ] を調整します。</p> |
| 色が正しく表示されない | <p>[色調] メニューで色温度を選択します。</p> <p>または</p> <p>リセット機能を使用してデフォルト設定に戻します。</p> |
| 「範囲外」というエラーメッセージが表示される。 | <p>PC がモニターによってサポートされていない解像度またはタイミングモードで動作しています。PC のタイミングモードを次の有効な組み合わせのいずれかに変更してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> - 640×480 (60/72/75Hz) - 720×400 (70Hz) - 800×600 (60/75Hz) - 1024×768 (60/75Hz) - 1280×768 (60Hz) - 1280×960 (60Hz) - 1280×1024 (60Hz) - 1366×768 (60Hz) - 1600×1200 (60Hz) - 1920×1080 (60Hz) |

9 メンテナンス

LCD パネルに水滴やオイルが付いたときには、すぐに脱脂綿または柔らかい布で拭き取ってください。長時間放置すると、汚れが付着したり変色したりすることがあります。LCD パネルの表面（偏光板）に汚れや染みが残った場合は、脱脂綿または柔らかい布を使用し、次の手順で取り除いてください。

1. ディスプレイの電源をオフにし、電源ケーブルをコンセントから抜きます。
2. 画面には、どのような液体も吹き付けしないでください。汚れていない柔らかい布を水だけで湿らせます（ペーパータオルや汚れた布を使用すると画面に傷が付く恐れがあります）。
3. 画面を上から下に向かって軽く拭きます。画面が破損する恐れがあるため、力を入れすぎないように注意してください。
4. 拭き取った跡が残らないように、別の汚れていない乾いた柔らかい布でもう一度画面を拭きます。



注

水で汚れが落ちない場合は、LCD パネル用と書かれた低刺激性のクリーナー（事務用品店で購入可能）を使用してください。

以下の薬品を洗浄剤として使用しないでください。

- ケトン型の薬品
- エチルアルコール
- エチル酸
- トルエン
- 塩化メチル
- アンモニア

これらの薬品を使用すると、化学反応によって偏光板に修復不能な損傷を与える恐れがあります。

10 技術仕様

| モデル | UML-193-90 | UML-223-90 |
|--------------------------|---|---|
| LCD の仕様 | | |
| LCD の種類 | 18.51 インチ デジタル LCD | 21.53 インチ デジタル LCD |
| バックライトの種類 | LED | LED |
| ピクセルピッチ (H×V) | 0.3×0.3mm | 0.248×0.248mm |
| 輝度 | 250cd/m ² (通常) | 250cd/m ² (通常) |
| コントラスト比 | 1000:1 (通常) | 1000:1 (通常) |
| 応答時間 | 5ms (通常) | 5ms (通常) |
| 解像度 (H×V) | 1366×768 | 1920×1080 |
| 周波数 | 水平 : 31 ~ 64MHz 垂直 : 50 ~ 75Hz | 水平 : 31 ~ 75MHz 垂直 : 50 ~ 75Hz |
| アクティブ表示エリア (W×H) | 409.8×230.4mm (16.1×9.1 インチ) | 476.64×268.11mm (18.8×10.6) |
| 入力信号 | | |
| HDMI | 入力 x1 | |
| DVI-D | 1 デジタル入力 | |
| PC RGB | 15 ピン D-Sub コネクタ | |
| 音声 | 1 入力 (ステレオ) スピーカー (80hm、2W) | |
| アップグレード | 入力 x1 | |
| 梱包箱の寸法 (幅 × 高さ × 奥行き) | 505×380×130mm (19.88×14.96×5.12 インチ) | 570×420×130mm (22.44×16.54×5.12 インチ) |
| 純重量 | 3.0kg (6.6lbs) | 3.6kg (7.9lbs) |
| 総重量 | 4.4kg (9.7lbs) | 5.2kg (11.5lbs) |
| 定格 | DC 12V、3.5A (モニター) AC 120/230V、50/60Hz (電源アダプター) | |

Bosch Security Systems, Inc.

850 Greenfield Road
Lancaster, PA 17601
U.S.A.

www.boschsecurity.com

© Bosch Security Systems, Inc., 2012